

(2017.10.18 参考仮和訳)

2018年5月28日～31日  
IAEA 第3回原子力人材育成国際会議における  
「中高生国際大会のご案内」  
2018年5月29日～30日、韓国、慶州市

### テーマ

私たちの暮らしのなかで、現在、または将来の原子力科学技術の影響と応用について、独自のプロジェクトを企画・実施する中高生を募集する。

このプロジェクトでは、中高生の地元コミュニティにて、原子力科学技術周りの議論促進と認知向上が求められている。中高生には、プロジェクトの実施にあたり、国、地域や地元の原子力研究機関、組織、施設と一緒に考えてほしい。

中高生は、アイデアや科学的な正確性を得るために、IAEA ウェブサイト、文書、e-ラーニングで手に入る IAEA の情報源を利用してよい。

### 参加者

大会の対象は、IAEA 加盟国の、現在、中学・高校に在籍する 14～18 歳の生徒である。

チームには、少なくとも 3 名の生徒が必要であるが、チームの人数に制限はない。(ファイナリストのチームごとに、3 名のみが会議に招待される。) 女子生徒の参加率が少なくとも 50%以上のチームが優先される。

チームは、一校で構成しても、複数の学校の混成でもよい。

### 応募

参加者は、提案するプロジェクトに関して動機、方法、期待される結果と結論の概要を提出する。

一次選考を通過した参加者には、プロジェクトの実施と成果を示すビデオ（またはデジタルメディアプレゼンテーション）の提出が求められる。

留意事項：

- ・全ての要旨は英語でなければならない。
- ・英語以外の言語のビデオには英語の字幕をつける。
- ・参加者は、要旨、ビデオを期限までに次のアドレスに送付する。

[H.Hyun@iaea.org](mailto:H.Hyun@iaea.org)

審査員は、本会議運営委員（IAEA 職員を含む）ならびに大会スポンサー代表よりなる。審査員は、要旨、ビデオを評価し、ファイナリストを選出する。

### ファイナリスト

一次選考を通過した 5 チームが招待され、本会議において、各自のプロジェクトについて発表する。

- ・チームは、会議に直接参加しても、ビデオ通話による参加でもよい。
- ・各チームには、発表後、プロジェクトを進めた過程とその内容に関する 5 分の質疑応答がある。
- ・会議で発表する各チームには、大人の専門教員一名の同行が求められる。
- ・国際審査員が優勝チームを選出する。

### 基準

プロジェクトの選抜基準：

- ・プロジェクトによって、関連する原子力科学技術・応用についての認知が向上すること。
- ・プロジェクトによって、創造的なやり方で理論と実用性が結びつくこと。
- ・要旨は 300 語を超えないこと。
- ・ビデオは 3 分を超えないこと。
- ・コメントは、できるだけ科学的に正確であるべきこと。
- ・プロジェクトは、身元の確かなチームメンバーによって、オリジナルに創作されたものであること。
- ・（音楽、画像、ビデオが生徒のチームメンバーによって創作されていない）著作権に触れる素材を扱わないこと。
- ・教員はアドバイスに徹すること。

### 賞

すべてのファイナリストチーム（1 チームは、3 名の生徒と 1 名の同行教員に代表される）は、次の助成を得ることができる。

- ・韓国へのエコノミークラス往復フライトチケット
- ・韓国内移動交通費

- ・韓国滞在中の宿泊・生活費
  - ・本会議への参加と関連施設訪問
  - ・地元の学校、研究機関訪問
  - ・地元との文化交流
  - ・その他、運営側が定めるもの
- 優勝チームには賞が贈られる。

## 期限

- ・2017年12月1日 参加者より要旨提出
- ・2017年12月20日 IAEAより一次選考通過者へ通知
- ・2018年3月2日 一次選考通過者は、プロジェクト実施についてのビデオ（またはデジタルメディアプレゼンテーション）提出
- ・2018年3月26日 IAEAよりファイナリストへ通知
- ・2018年5月29・30日 ファイナリストが本会議にて発表、優勝チーム発表
- ・2018年6月1日 ファイナリストのプロジェクトをIAEAのソーシャルメディア掲載

会議のウェブサイト：

<https://www.iaea.org/events/human-resource-development-conference-2018>

## 「中高生国際大会のガイドライン」

### 参加者

大会の対象は、IAEA 加盟国の、現在、中学・高校に在籍する 14～18 歳の生徒である。

チームには、少なくとも 3 名の生徒が必要であるが、チームの人数に制限はない。(ファイナリストのチームごとに、3 名のみが会議に招待される。) 女子生徒の参加率が少なくとも 50%以上のチームが優先される。

チームは、一校で構成しても、複数の学校の混成でもよい。

1 チーム 1 エントリーまで

### 概要

大会への提出物は、IAEA の大会担当者に送付する。担当者は、Ms. Heeweon Hyun。E-メールアドレスは [H.Hyun@iaea.org](mailto:H.Hyun@iaea.org)。E-メールのタイトルは [International Student Competition] Project Abstract (チーム名、国)とする。

提出物には次の内容を含む。

- (a) プロジェクトの要旨 (最大 300 語)。PDF のテンプレートは大会ウェブサイトより入手可能で、動機、方法、期待される結果と結論の概要を書くようになっている。
- (b) チーム構成の詳細 (中高生の氏名、生年月日、同行教員の氏名・学校での肩書き、学校の住所 (地番まで))

要旨は英語で書く。

提出期限は、2017 年 12 月 1 日深夜 12 時 (中央ヨーロッパ時間)。申請書は期限を過ぎると受理されない。また、提出後の変更は認められない。

### プロジェクト要約ービデオまたはデジタルメディアプレゼンテーション

一次選考を通過した参加者は、本大会向けプロジェクトの要約を次の e-メールアドレスに提出する。[H.Hyun@iaea.org](mailto:H.Hyun@iaea.org)。E-メールのタイトルは [International Student Competition] Project Video (チーム名)とする。

提出するものは、

- (a) ビデオ、またはデジタルメディアプレゼンテーション。プロジェクトの実施詳細と成果を要約したもの（最大3分間）。
- (b) 個人または組織の著作権に違反・侵害するような音楽、画像、ビデオクリップ等の素材ではないこと。プロジェクトで使用されるすべてのコンテンツに著作権がないことを確認するのは参加者の責任であり、IAEAの責任でない。

英語以外の言語のビデオには、英語の字幕をつける。ビデオは携帯電話の横長モードで撮影したものでよい。

また、プロジェクト要約の提出により、参加者は、当該ビデオやデジタルメディアプレゼンテーションを IAEA ウェブサイト、ソーシャルメディア、その他のプラットフォームで公表する権利を IAEA に与えることに同意したこととなり、ここで IAEA に与えた権利と矛盾する他の権利を与えるものではないと証明することになる。（訳注：この内容については、Form for Submission of an Abstract 申請書の中に確認欄がある）

提出期限は、2018年3月2日深夜12時（中央ヨーロッパ時間）。期限を過ぎると受理されない。ビデオ、デジタルメディアプレゼンテーションは、一度提出すると変更は認められない。大会のいかなる段階においても著作権の侵害が認められた場合は、チームはただちに失格となる。

### 発表とノミネート

IAEA がファイナリストとして選出した5つのチーム（1チームは最大3名の中高生と1名の同行教員からなる）には、第3回原子力人材育成国際会議にて自らプロジェクトを発表する機会が与えられる。国際会議（会議名は、Meeting Challenges to Ensure the Future Nuclear Workforce Capability）は、2018年5月28日～31日、韓国、慶州市で開催される。

選出されたファイナリストチームに同行する専門教員は、国際会議に参加するチームメンバーリストを、必要事項を記載した書類とともに、同一の e-メールで次のメールアドレスに送付する。[H.Hyun@iaea.org](mailto:H.Hyun@iaea.org)。E-メールのタイトルは、[International Student Competition] Nomination（チーム名、国）とする。

必要書類は、

- (a) 参加登録フォーム（Form A）
- (b) プロジェクト提出フォーム（Form B）

(c) 助成申請フォーム (Form C)

(d) 保護者同意フォーム

提出期限は、2018年4月27日深夜12時（中央ヨーロッパ時間）。期限を過ぎると受理されない。

#### 連絡先

大会に関する問合せは、Ms. Heewoen Hyun まで。 [H.Hyun@iaea.org](mailto:H.Hyun@iaea.org)。

以上